



銅像山通信 第10号

浅野学園同窓会会報・平成19年

発行日：平成19年 4 月27日 発行人：浅野学園同窓会



目 次

〈ご挨拶〉

浅野学園同窓会会長 石橋 義史	2
浅野中学・高等学校長 淡路 雅夫	2
平成18(2006)年度 浅野学園同窓会総会報告	3
委員会から(財務・総務・親睦・広報)	3
平成17年度同窓会収支報告・18年度同窓会役員	3
同窓生の広場	4
映画紹介、浅野総一郎翁関係事業、同窓生の活躍	

平成18年度 各クラブの参加状況と活動実績	6
お知らせ	7
掲示板	7
編集後記	7
平成18年度浅野高等学校大学入試合格者数一覧	8

ご挨拶

《ご挨拶》

—卒業生諸君の門出に寄せる—
“ライヴァル”の話



浅野学園同窓会会長

石橋 義史 (31期)

諸君、卒業おめでとう。もうずいぶん前のことになりますが、私が本校でクラス担任をしていたころ、あるお母さんが、自分の息子に関してしみじみと語られた言葉を思い出します。それは「あの子には、おねえちゃんの百倍も苦労させられました」というものでした。

ここにいう＜百倍＞とは、たとえば＜白髪三千丈＞的な単なる比喩ではなく、そのお母さんの実感に根ざした、心で発音された言葉に相違ないと、そのとき私は思ったことでした。

こんな昔の話を持ち出したのは、諸君に来し方を振り返り、「今日の佳き日を迎えることができたのは、直接と間接とを問わず、多くの方がたの力添えがあったからこそなのだ」という思いに浸ってもらいたいからに他なりません。そうしてそれは、わが浅野高校卒業生たる者の喜ばしい義務でなくてはならない。私はそう考えるのです。

さて、去年の8月15日、第61回目の終戦記念日に、NHKテレビが《アジアの中の日本》というテーマで4時間にわたる討論会を放映しました。出席者は、戦争を体験した高齢者、アジア諸国で活躍しているビジネスマン、政治学を専攻する大学生など、40名ほどだったと記憶します。

席上、ゲストとして招かれていた麻生太郎外務大臣が、「日本と中国がライヴァル関係にあるのはまことに結構なことで、お互いが切磋琢磨するからね」と、例の笑いを含んだような独特な口調で発言しました。ところがそれを耳にしたドイツの留学生が、間髪を入れずに、「一国の外相ともあろう者がライヴァルなどと言うなんて信じられません！」と激しい口調で食ってかかったのです。

一瞬、気まずい雰囲気会場に流れたように感じられました。と同時に私は、いったい何故＜ライヴァル＞という言葉にドイツの青年が過剰とも思える苛立ちを露わにしたのか、不審に思いました。司会者はしかし、その真意を問うことなく、番組はそのまま進行していつてしまいました。

私は番組終了後も、時おり、ノドに刺さった魚の小骨のように、その討論会の一場面が思い出されてなりません。むしろ手持ちの辞書で＜rival＞の項目に当たってもみましたが、＜好敵手・競争相手＞ぐらいの意味しか記載されていません。何人かの知友にも調べてもらいましたが、はかばかしい回答は得られませんでした。

しかしその後、研究社の『大英和辞典』第6版に、＜ライヴァル＞という言葉には「日本語で使われているようなくよき友人」という含みはない」という記述があり、また『英語表現辞典』には「同一の目的に向かって敵意をみなぎらせながら、相手を打ち負かそうとしている生々しい人間の姿」という解説があるのを教えられ、やっと私のもやもやした疑問も解消し氷解することができたのでした。

すでに言うまでもないでしょうが、ドイツの青年は、責任ある一国の外相が、中国に対して公然と＜敵意＞を表明したのだと思ったのでしょうか、麻生さんはごく自然に、日本的な使われ方の＜よき競争相手＞の意味で用いたというわけです。

いささか余談にわたりますが、クラシック音楽の世界には、かつてその熱狂的な人気を二分するライヴァルがいました。W.フルトヴェングラーとH.V.カラヤンという指揮者です。しかし二人の間には、世界最高のオーケストラである＜ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団＞の首席指揮者の座をめぐる、時に政治家たちをまで巻き込んだ壮絶にして隠微な闘争があったことは、すでに歴史の明かすところです。

ちなみにカラヤンは決して楽譜を見ずに、ほとんど目をつぶったままで指揮をすることでも有名でしたが、そのことについての感想を新聞記者たちから求められたフルトヴェングラーは、一言のもとに「あいつは楽譜が読めないんだらう」と斬って捨てた、という有名なエピソードが残されています。

野球界にあっても、たとえば＜好敵手＞として一世を風靡した王貞治と長嶋茂雄の間には、現役時代、必ずしもキレイゴトだけでは片づかない隠された確執があったようにも聞き及んでいます。

ところで駒大苫小牧からプロの世界へ入った田中将大君と早稲田実業から大学へ進んだ斎藤佑樹君とのライヴァル意識やいかに、であります。

少し道草を食いすぎてしまいましたが、最初に紹介したNHKの討論会における＜ライヴァル＞にまつわる話からは、さまざまな受け取り方が可能かと思えます。考えられる二、三の例をあげれば、「外国語の難しさ」ということ、「生兵法はケガのもと」ということ、「人と人、国と国との意思疎通の危うさ」ということ、にもかかわらず「私たちは言葉を通して他者と関わってゆかざるを得ない存在なのだ」ということ、等々です。あるいはまったく別の視点からこれを捉えることもできようかと思えます。しかし少なくとも私の言わんとした本当のところは、「日本語の＜手紙＞が中国語では＜トイレット・ペーパー＞の意味に相当する」といった次元での話では決してありません。ということだけを言い添えて、諸君の洋々たる門出に寄せる、心ばかりのはなむけの言葉とさせていただきます。

(平成18年度浅野高等学校 卒業式祝辞)

《ご挨拶》

気の付くこと、 気の利くこと



浅野中学・高等学校長

淡路 雅夫 (40期)

今年も3月10日(土)に高校三年生255名が晴れの日を迎え、学園を巣立っていきました。昨年は、生徒諸君もよく健闘したのですが、東大の入試結果が例年に比べ不本意に終わってしまい、同窓の皆さまにはご心配をおかけしましたが、今年は、昨年の卒業生諸君も一念発起し、自分の行きたい大学へ入学するという目的を達成してくれました。また、今年度の卒業生諸君も6年間の先生方の指導を受け、東大はもちろん東工大や早稲田大学、慶應義塾大学にも多く合格し、自己の目的を達成してくれました。とりわけ今年の大学受験を見ますと、《文武両道》の精神を踏まえ、校歌にある各自の《為すべき務めを為す》という学園の建学の精神を一人ひとりが体現してくれたものと感謝の気持ちで一抔です。

卒業生諸君は、これから大学での更なる勉学を経て社会へ出るわけですが、その社会は必ずしも働きやすい社会とはいえない、つまり、今までの社会のマニュアル通りにはいかなない不確実な想定外の出来事の多いところになることになります。そうした厳しい状況にあっても、学園で培った経験を踏まえ、社会の動向をしっかり受け止め、先見性をもって活躍できるよう願うところです。

卒業式の式辞の中でも申し述べたことですが、これからは卒業生諸君の実力が社会で受け入れられるために、《気の付くこと、気が利くこと》ができるように日常生活での気配りを忘れないこと、また、自分が社会とどのように関われるか、常に自己と社会との関わり合いについて考えることを忘れないようにという話をしました。同窓諸兄にも、学園へのご支援とともに後輩諸君への更なるご助言をお願いしてご挨拶とします。

総会報告

平成18(2006)年度 浅野学園同窓会総会報告

平成18年度浅野学園同窓会総会は平成18年6月3日(土)午後5時より、横浜市西区高島町の日産会館21階会場において開催された。

総会出席者123名を得て、浅野学園教諭前田渉(50期)の司会により進行した。

開会に先立ち司会者の先導により、副会長石崎廣英(15期)をはじめ物故学友の霊に対し、慎んで哀悼の意を表して黙祷を捧げた。

開会后、会長石橋義史(31期)の挨拶、学校長淡路雅夫(40期)の挨拶の後、議長に岡本順太郎(38期)、書記に横溝貢(31期)が指名され、議案書に沿って議事が進行された。

第1号議案 平成17年度事業報告について総務委員長加藤勇治(36期)が報告した。

第2号議案 平成17年度決算並びに監査報告について財務委員長長峯徳積(45期)が決算、監査報告を監事古川高夫(45期)がおこなった。

第3号議案 平成18年度事業計画案について総務委員長加藤勇治(36期)が提案した。

第4号議案 平成18年度予算案について財務委員長長峯徳積(45期)が提案した。

第5号議案 その他の件 副会長阿部義広(46期)が総一郎翁映画への援助について報告した。

上記すべての議案は報告・提案・説明の通り全会一致で承認された。議事終了後、親睦委員長齋藤清紀(48期)より、親睦会案内がなされ、閉会后直ちに懇親会に移った。

本年度は石橋会長のもと、同窓会の存在を広く同窓生に理解を求め、組織の活性化を進めた1年であった。

各期が同期会を開催し、交友意識を深めると共に同窓会への参加を促していただきたいものである。

【同窓会副会長 岡本順太郎(38期)】

委員会から

財 務

平成18年度の役員会で、会費の値上げの件と繰越金の使途の件についての議論がありました。また会費の導入期の苦労話を聞くことができ、金額の如何に関わらずその対処の難しさを実感しました。

繰越金の積立および使途についても毎年同じ様な事を繰り返してきましたが、今後は将来の事を考えて、皆様方の意見を広く聞く機会をもちたいと思います。

皆様方の忌憚のないご意見をお願いします。

(財務委員会委員長 45期 長峯 徳積)

総 務

小説「洪沢栄一」(津本 陽)の中で、栄一は総一郎の事業経営の非凡の才を認め、それに対して総一郎は、「セメント事業は、洪沢翁と私に決心があったればこそ今日に至らしめ得たので、工部省から引きうけるときに洪沢翁のご援助をいただき得なかったら、あるいはどうなったかもしれませぬ」とセメント事業の発端を述懐しています。栄一と総一郎の事業家としての絆に感銘を受けました。さて、本年度の総務部の活動ですが、一番大きいものは、9月に開催された文化祭の「同窓会の部屋」です。野球殿堂入りした飯田徳治さんの顕彰パネル写真を展示し、好評でした。Tシャツ販売、映画「九転十起」の宣伝も行いました。近年は同期会の開催も多くなり会員の親睦も深まってきました。今後も会の活動に皆様のご支援とご協力をお願いします。

(総務委員会委員長 36期 加藤 勇治)

親 睦

平成18年度の同窓会総会並びに懇親会が、昨年の6月3日(土)に前年度と会場を変えて横浜駅東口に在る日産会館にて、同様に開催されました。当日は特別会員の退職された先生方、現職の先生方、同窓会員合わせて百数十名の参加者を得ての会となりました。総会は、石橋会長の挨拶に始まり、議事は滞りなく進みました。

懇親会は、恒例により今年度も高橋洋一氏(48期)の司会により進められました。退職者の先生方の入場、校歌斉唱、石橋会長の挨拶、淡路校長の挨拶と進み、和やかに歓談しました。閉会では現職の先生方がステージに上り、岡本副会長によるエールを受け、その場で淡路校長が石橋会長より記念品の目録を受けました。最後に、応援歌を参加者全員で歌いお開きとなりました。

今年度は6月2日(土)に開催いたします。会員の皆様多数のご参加をお待ちしています。

(親睦委員会委員長 48期 齋藤 清紀)

広 報

本年3月時点でH・Pも新着情報は即時更新できるようになり、そのお陰でアクセスも54,000を超えて、会員皆様のご協力と運用は制限されながらも安定してきました。

委員会の活動は18年の総会終了後に1回開催、その後19年3月末に開催しました。この席上の大きな議案は、本年1月に開かれた役員幹事会で提案のあった件についてです。この提案は、毎年発行して全会員に送付の「銅像山通信」について、日頃インターネットを利用される会員には了解して下さる方のみメールで配信。ペーパーを希望される会員の方には従来通り郵送お届けするという内容でした。この案が実現されれば、毎年100万円近くの総会案内と会報の郵送費が部分的に削減できるメリットがあるからです。まだ同窓会全体としての結論は出てはおりませんが、広報としては委員会全員が賛成しました。他に同窓会活性の一環として、同好会もできるところから立ち上げていくことも検討決定いたしました。今後も各委員会と協力しながら同窓会の活性化に協力していくことで全員了承しました。以上活動のご報告です。

(広報委員会委員長 45期 古川 高夫)

●財 務	長峯 徳積
45期	※岩崎 正樹
53期	※前田 昌治
●総 務	加藤 勇治
36期	谷口 榮
18期	荻部 吉郎
19期	栗原 隆
30期	田邊 公男
30期	横溝 貢
31期	菅野 悦雄
31期	吉澤 瞭一
40期	大平 和美
44期	中島 賢司
46期	新井 康
46期	水野 恭一
49期	関野 保幸
53期	熊沢 真二
50期	※前田 渉
64期	※堤 敬哉
●親 睦	齋藤 清紀
48期	大山 豊造
20期	上杉 政勝
29期	加藤 行一
30期	菜花 衛
36期	小池 典
38期	池田 政弘
40期	小沢 治雄
42期	長井 勉
44期	原 成男
48期	高橋 洋一
48期	小此木歌蔵
51期	石垣太三郎
75期	金子 久雄
50期	※金子 久雄
●広 報	古川 高夫
45期	山口 継央
38期	石堂照日子
44期	佐藤 洋輔
48期	石土 秀貴
48期	細野 泰彦
49期	富田 悦生
55期	都築 淳一
58期	※酒井 晴雄
45期	※岩崎 泉
52期	※大野 浩光
58期	※大野 浩光

(委員名の太字は委員長、※は在校幹事)

●● 平成17年度 同窓会収支報告 ●● (単位：千円)

(支出の部)		(収入の部)	
項 目	金 額	項 目	金 額
管 理 費	1,717	会 費	1,740
事 業 費	2,683	終 身 会 費	5,659
積 立 金	2,000	積立金取崩収入	0
予 備 費	450	預 貯 金 利 子	0
次年度繰越金	2,507	雑 収 入	401
		前年度繰越金	1,557
合 計	9,357	合 計	9,357

●● 平成19年度 同窓会役員 ●●

期	役 割	氏 名
31	会 長	石橋 義史
40	顧 問	※淡路 雅夫
18	副会長	加藤 明
38	副会長	岡本順太郎
46	副会長	※阿部 義広
45	会 計	長峯 徳積
	会 計	※岩崎 正樹
45	監 事	古川 高夫
53	監 事	※前田 昌治

※は在校幹事

同窓生の広場

映画紹介

浅野總一郎翁の映画続編



浅野總一郎

昨年10月、川崎市の「109シネマズ川崎」で公開された「浅野總一郎の青春」が好評だったため、上映予定が約2ヶ月に延長されました。当初、監督の市川徹さん(44期)は、總一郎の波乱に満ちた生涯を一本の作品にする予定でしたが、資金的に余裕がなかったために若き日の總一郎にテーマを絞って映画化したと北日本新聞のインタビューに答えています。第一作を鑑賞した人々から「続きを見たい」との声が相次いで寄せられたので、監督は続編を制作することを決意したとのこと。

5月12日から公開される第二部「九転十起の男② 浅野總一郎 激動の壮年期」がそれです。俳優の加勢大周さんを主演に起用したこの作品では、官営セメント工場の払下げを受けて浅野セメントを設立し、実業家としての頭角を現し始めた34歳から、東洋汽船を設立して海運業を独占する三菱財閥に対抗する54歳までが描かれています。なお、今秋には總一郎の晩年を描く第三部「完結編」も公開される予定で、「總一郎の生涯を伝えたい」という監督の長年の構想もようやく完成に近づいてきたようです。

日本が、幕末から明治・大正・昭和と近代国家としての階段を駆け昇っていくなかで、実業家としての基盤を固めていく總一郎。セメント、炭鉱、石油輸入、築港、ダム建設、鉄道敷設など、その起業意欲はとどまるところを知らず、日本の近代化とともに京浜工業地帯の発展に多大な貢献をした總一郎。その偉業は枚挙に暇がないのですが、その実相についてはあまり知られていません。夢を次々と実現した男、創業・起業に熱中する計り知れない男、パイオニア精神にあふれる男等々様々な總一郎評があります。渋谷栄一のように「自らの致富に努め、利益をはかり事業を行う人物で国家のためを考えることはほとんどない」という厳しい評価もあります。

心の支えであった母親を亡くし、灰色の海を見つめながらずっと涙を流す第二部のラストシーンの總一郎、失敗の



体験や挫折を力に何度もそこから立ち直って次の事業にまい進する總一郎。普通の人間なら極力避けようとする悲哀や失意の場面ですが、總一郎はむしろそのような境遇から力を得て新たなチャレンジをしていく、そこにこそ總一郎の真の人間像があるのかもしれません。

現代を生きる私たちが、現在の価値観や人間観で浅野總一郎という人間を理解しようとしても十分理解できないのかもしれません。まさに「その男、はかりしれず」(新田純子)です。

銅像山の一角に立っている總一郎翁の銅像を何度も見た人でも、その裏側に刻まれている總一郎翁の手がけた事業所の名称は意外なほど見ていないのではないのでしょうか。「九転十起の男」を見る前か、あるいは見た後にでも、銅像山を訪れ、銅像の裏側に刻まれたその一覧を見ながら、總一郎翁の人間像に思いを馳せてみてはどうでしょうか。

浅野總一郎翁関係事業 (昭和33年12月調)

セメント事業

浅野セメント株式会社 明治16年4月創立
(日本セメント株式会社に改名)
東亜セメント株式会社 明治40年1月創立
(浅野セメント株式会社に併合)
浅野スレート株式会社 大正4年2月創立

第一セメント株式会社

(旧浅野セメント株式会社川崎工場)
会津鑛業株式会社 大正9年6月創立
日本石膏株式会社 明治45年3月創立
(会津鑛業株式会社に併合)
日本カーリット株式会社 大正9年7月創立

旭コンクリート工業株式会社

大正12年11月創立
大阪石綿工業株式会社 大正14年8月創立
(浅野スレート株式会社に併合)
日本ヒューム管株式会社
大正14年10月創立

製鉄、造船事業

浅野合資会社製鉄所 大正6年9月創立
(現在 日本鋼管株式会社鶴見製鉄所)
日本銑鉄株式会社 大正6年9月創立
(旧小倉製鋼株式会社に併合)
株式会社大島製鋼所 大正6年11月創立
(日曹製鋼株式会社に併合)
中央製鉄株式会社
大正6年11月創立(解散)
小倉製鋼株式会社 大正7年12月創立
(住友金属工業株式会社に併合)
日本鑄造株式会社 大正9年9月創立
東京シャリング株式会社
大正15年9月創立
(現在 東都製鋼株式会社及び東京シャリ
ング株式会社)
株式会社浅野造船所 大正5年4月創立
(現在 日本鋼管株式会社鶴見造船所)
株式会社浅野造船所船渠部
大正12年4月創立
(現在 日本鋼管株式会社浅野船渠)

海運、陸運事業

東洋汽船株式会社 明治29年6月創立
日之出汽船株式会社 大正元年11月創立
国際汽船株式会社 大正8年7月創立
(大阪商船株式会社に併合)
関東運輸株式会社 大正9年7月創立
青梅電気鉄道株式会社
明治26年12月創立
(国有鉄道に譲渡)
小倉鉄道株式会社 明治40年6月創立
(国有鉄道に譲渡)
南部鉄道株式会社 大正10年3月創立

(国有鉄道に譲渡)

鶴見臨港鉄道株式会社 大正13年7月創立
(国有鉄道に譲渡)

留萌鉄道株式会社 昭和3年6月創立
(国有鉄道に譲渡)

三岐鉄道株式会社 昭和3年9月創立

埋築地所事業

鶴見埋築株式会社 大正3年3月創立
(東京湾埋立株式会社に併合更に
東亜港湾工業株式会社に改名)
京浜運河株式会社 大正6年9月創立
(旧東京湾埋立株式会社に併合)
台湾地所建物株式会社
明治43年6月創立(解散)

石油事業

宝田石油株式会社 明治35年6月創立
(旧日本石油株式会社に併合)
南北石油株式会社 明治38年創立
(旧宝田石油株式会社に併合)
東亜石油株式会社 明治39年8月創立
(旧南北石油株式会社に併合)

鑛山事業

磐城炭礦株式会社 明治16年創立
(現在 常磐炭礦株式会社)
茨城探炭株式会社 明治34年9月創立
(旧磐城炭礦株式会社に併合)
石狩石炭株式会社 明治39年4月創立
(北海道炭礦汽船株式会社に譲渡)
大日本鑛業株式会社 大正4年11月創立
日丈炭礦汽船株式会社
大正6年10月創立(解散)
朝鮮鉄山株式会社
大正6年10月創立(解散)

浅野雨龍炭礦株式会社 昭和4年9月創立
(古河鉱業株式会社に譲渡)

貿易事業

浅野物産株式会社 大正7年4月創立

電気事業

沖電気株式会社 大正元年8月創立
庄川水力電気株式会社 大正8年9月創立
(関西電力株式会社に譲渡)
関東水力電気株式会社 大正8年10月創立
(東京電力株式会社に譲渡)

文化事業

浅野総合中学校 大正9年1月創立
(浅野学園に改名)

銀行業

株式会社日本昼夜銀行 大正5年5月創立
(旧安田銀行に併合)

其他の事業

東京瓦斯株式会社 明治18年10月創立
大日本人造肥料株式会社
明治20年2月創立
(日産化学工業株式会社に改名)
東京製綱株式会社 明治20年3月創立
札幌麦酒株式会社 明治21年創立
(日本麦酒株式会社に改名)
株式会社帝国ホテル 明治23年6月創立
浅野石材工業株式会社
明治38年9月創立(解散)
神奈川コークス株式会社 大正8年4月創立
(東京瓦斯株式会社に併合)
鶴見木工株式会社
大正9年8月創立(解散)
伏木板紙株式会社 大正12年9月創立
(中越パルプ株式会社に併合)

ご存知ですか？**今年も同窓生がいろいろな分野で活躍しました。****◎小泉一郎さん(25期 昭和23年3月卒)**

神奈川新聞で好評の連載「わが人生」に、昨年8月25日から10月25日まで60回にわたって、生涯一農業人として歩んできたその経歴が紹介されました。連載の最初の部分には浅野時代の想いでも書かれ、懐かしい写真も出てきます。後半は日本の農業を取り巻く厳しい状況や、現在の都市型JAの抱える課題にも話が及んでいます。多岐にわたる内容でした。もし、1冊の本になるならば、ご一読ください。

◎飯田洋さん(37期 昭和35年3月卒)

戦中戦後の体験を語る世代が職員室から姿を消した教育界。横浜市立高等学校退職者会は、戦中・戦後の教職員の体験記を冊子『惜しむ言葉』としてまとめました。編集に携わった飯田さんは、今年2月に朝日新聞のインタビューを受け、冊子を編集した経緯を語った後、「今では当たり前にある法律が、どんな事実の下に制定されたのか、現役の教師たちにも伝えたい」と結んでいます。教育関係者だけではなく、多くの人に手にとって頂きたい1冊です。

◎濱諦弘(旧名光宏)さん(55期 昭和53年3月卒)

『不老不死の薬を持った祈祷僧』(新風社)を出版しました。元

生徒会長、現在大阪府能勢町の正林寺ご住職です。今の世に欠けているものは何かを考えるヒントが詰まった一冊です。

〈浅野学園の校歌の作曲者一信時潔の探求〉

新保祐司著『「海ゆかば」の昭和』(イシプロン出版企画)

毎日新聞の2月7日の記事に、都留文科大学教授で文芸評論家の新保祐司さんが、作曲者信時潔について一冊の本にまとめたことが取り上げられていました。

万葉歌人大伴家持の「海行かば 水漬く屍 山行かば 草生す屍…」という歌詞に信時が曲をつけたのは昭和12年。戦時中は「軍艦マーチ」とともにラジオから流れ、戦後は「封印」された「海ゆかば」の作曲家が信時だったことを卒業生の皆さんはご存知でしたか。

新保さんは詩人谷川俊太郎や作曲家園井玖磨など大正から戦後生まれの政治学者や音楽家・作家など47人の「海ゆかば」に関する論考やエッセーを集めて編集・出版しました。その動機を「昭和の精神史を凝縮した曲とその作曲者信時にもう一度光を当てるため」と語っています。

本校の校歌や慶應義塾の塾歌の作曲者、文化功労者として知られている信時潔—私たちが知らない信時潔。一度手にとって読んでみてはどうでしょうか。

平成18(2006)年度 浅野中・高等学校各クラブの参加状況と活動実績

クラブ名	顧問名	部員数	主 な 活 動 や 実 績
アーチェリー部	松岡 押田 小西	37人	中学;横浜市民冬季大会(個人 優勝)
アメリカンフットボール部	沼澤 森 稲葉	41人	中学;NFL主催フラッグフットボール神奈川県大会 準優勝 日本連盟主催春季フラッグフットボール・ジュニア関東大会(3位) 日本連盟主催秋季フラッグフットボール・ジュニア神奈川県大会 中3Aチーム準優勝・中2Cチームベスト4進出
剣 道 部	前川 原田 加藤勉	35人	高校;神奈川県高等学校一年生大会 男子団体ベスト8 神奈川県高等学校新人戦大会 男子団体ベスト32 中学;神奈川区中学校練成大会 男子団体2位 神奈川区中学校大会 男子個人2位
高校サッカー部	永山 波田野 芳賀 酒井	25人	新人戦ブロック1位通過 シード決定トーナメントでシード権獲得 県大会ベスト32進出
中学サッカー部		65人	神奈川県私立・横浜市の各大会に参加し健闘 横浜市内Aブロック選抜選手に1名選出
柔 道 部	平山 西澤 大川	41人	高校;国民大会県予選(60kg以下級 ベスト16) 横浜・川崎地区高等学校新人体重別大会(73kg以下級 ベスト16) 中学;神奈川県大会出場 県私立中学大会(団体3位) 神奈川区中学柔道大会(団体2位) (個人-中1の部3位 中2の部-3位 中3の部-2位)
水 泳 部	愛甲 土門 河田	20人	神奈川区鶴見区中学合同大会(200m個人メドレー優勝 100m背泳ぎ 準優勝) 横浜地区大会(100m自由形8位・200mフリースタイル 8位)
卓 球 部	奥野 越智 磯崎	65人	インターハイ予選 シングルス 県大会出場(3人)
テ ニ ス 部	広瀬 灘山 持丸 金子 小林佳	170人	高校;神奈川県高等学校テニス大会(団体 ベスト16進出) 神奈川県高等学校新人テニス大会(団体 ベスト32進出) 横浜ジュニアテニス選手権大会(個人 第3位)
登 山 部	比留間 麻生 大塚重	19人	高校夏合宿(槍ヶ岳縦走) 中学夏合宿(日光男体山)
ハンドボール部	青木 吉澤 徳山 (山田啓)	110人	高校;関東大会県予選大会3位 関東高等学校選手権大会1回戦敗退 神奈川県総合体育大会(インターハイ県予選)ベスト4 県選手権大会ブロック優勝 県協会平成18年度年間優秀選手高校男子に1人選出される 中学;横浜市内大会3位 横浜市民大会4位 神奈川県選手権大会準優勝
高校バスケットボール部	田中邦 堤 更田	60人	新人大会横浜北地区予選(ベスト8進出)グループ予選2回戦突破 横浜カップ本戦出場
中学バスケットボール部	大塚剛 小林俊	49人	
バドミントン部	山崎 安井 今井	40人	三区戦(ダブルスベスト4進出)
バレーボール部	里見 中村 伊藤	32人	高校;秋季横浜大会 ベスト8 全国高等学校大会神奈川県予選会ベスト32 中学;神奈川県私立リーグ第4位
ボクシング部	永岡 庄子	5人	関東大会県予選(フライ級第2位,バンタム級優勝) 関東大会出場(フライ級・バンタム級) 全国大会県予選(バンタム級優勝) 全国大会出場(バンタム級)
高校野球部	出井 岩崎薫 宮坂	44人	春季神奈川県予選(3回戦出場)
中学野球部	山下 河合	50人	神奈川地区大会(準優勝)
ラグビー部	岩崎泉 佐藤崇 山田麻	24人	高校;横浜ラグビーフェスティバル出場 東京大学高校招待大会1勝1敗1分(2位) 中学;県春季大会・県秋季大会出場
陸上競技部	八木 古梶 石井 安部	46人	インターハイ横浜地区予選・神奈川県大会出場 県新人戦横浜地区予選(400m第2位,槍投げ第5位)・県大会出場
遺跡研究部	小野木 麻生 磯崎	8人	茨城県土浦市にて夏期合宿調査(太平洋戦争に関して)
劇団こぎと(演劇部)	稲葉 比留間 山田麻	7人	高校;第13回神奈川県私立高等学校演劇発表会(優秀賞) 第45回横浜市高等学校演劇連盟地区大会(最優秀賞) 第45回横浜市高等学校演劇連盟中央大会(優秀賞 審査員特別賞) 第20回横浜市高等学校演劇連盟春季発表会(スタッフ賞・ナイスキャラクター賞=中学2年生が!!) 中学;第14回横浜市中学校演劇発表会(奨励賞) 第15回横浜市ジュニア演劇ワークショップ&コンテスト(優良賞 フォンテ賞)
化 学 部	本多 更田 徳山	25人	
棋 道 部	橋本 柏崎	26人	高校;将棋夏季団体戦神奈川県大会(優勝) 全国大会(20位) 中学;囲碁団体戦神奈川県大会(優勝) 全国大会(8位) 関東大会(準優勝)
時 報 部	石井 西澤 小林俊(阿部)	11人	
吹 奏 楽 部	曾我 松岡 宮坂	29人	第7回横浜吹奏楽コンクール(銅賞) 定期演奏会 文化祭特別公演 オルトヨコハマ祭参加
生 物 部	吉澤 大塚剛	28人	沼津合宿 校内研究発表会 校外活動(施設見学・採集活動など)
地 学 部	波田野 庄子 小林佳	16人	三浦半島巡検 いわき研究旅行 茨城合宿 朝霧合宿 学校内徹夜観測
鉄道研究部	大野 堤 佐々木	20人	第18回神奈川県高等学校総合文化祭鉄道研究会発表 自由研究発表部門で私立中学高等学校理事長賞・自由研究発表部門で鉄道研究専門部会長奨励賞・車両コンテスト部門2位・自由研究発表部門 鉄道研究専門部会長奨励賞受賞
美 術 部	田中賢 河田	13人	
物 理 部	小西 安部 沼澤	30人	Microsoft Imagine Cup2006アルゴリズム部門2次予選進出 東京工業大学主催 Super Con2006 本戦出場 関東ブロック5位
J R C 部	前田 大塚重	11人	日赤神奈川県代表として高2部員1名が中国へ派遣された。夏・冬のLTCへ参加。 5名の新しい部員が加入し部活動に活気がでた。

平成19年春～銅像山五景



掲 示 板

同期会の案内、その他同窓会員への広報を目的とした「お知らせ」を掲載ご希望の方は原稿を
浅野中学・高等学校 酒井晴雄までお寄せください。

T E L 045-421-3281 F A X 045-421-4080 E-mail sakai@asano.ed.jp

No. 1 平成19年度 浅野学園同窓会総会・懇親会

日 時 6月2日(土) 総 会：午後5時00分～
懇親会：午後6時00分～

会 場 ホテルキャメロットジャパン
TEL 045 (312) 2111 (代)

会 費 8,000円

※詳細は、本会報と同封の案内状をご覧ください。

No. 2 同窓会年度会費(2,000円)納入の お願い

◇必ず卒業年とお名前の読みがなをご記入のうえ、同封の
振込用紙でお振込みください。また、6月2日(土)の
懇親会の受付での現金でのお支払いも申し受けます。

注意 ……ただし、72期～84期(平成7年3月卒～平成19年3
月卒)の会員は在学中毎月同窓会費をいただいておりますので、
年度会費は納入されなくて結構です。

No. 3 (学校より)

打越祭 第1部文化祭…9月8日(土)・9日(日)
第2部体育祭…9月22日(土)(雨天時は25日以降に順延)

学校説明会 5月19日(土)～24日(木)5日間とも本校講堂で

入試説明会 10月13日(土)/20(土)～25(木)6日間とも本校講堂で

※詳細は学校にお問い合わせください。

No. 4 「同窓生のための同好会」 募集開始のお知らせ

趣味を通じた同窓生同士のつながりを応援します。ゴ
ルフ・温泉巡り・つり・ボウリングなど同好会の発起人
を募集します。お志しのある方は広報委員会(古川 a-a-
a@air.ocn.ne.jp)まで卒業年度・お名前をご記入のうえ
ご一報下さい。

◆◆ 編集後記 ◆◆

今回第10号の編集委員会で、浅野総一郎翁の業績について、起業した様々な会社を
再度同窓会員の皆様に思い起こして頂くということになりました。このため委員全
体で協力し、『その男計り知れず』の著書や、その後社名変更されたものの事業が継
続発展している会社などを、その会社のホームページで調べたり、業界団体を通じて
解散した会社の追跡、あるいはもと経済記者をされていた方にもご協力頂いて、委員
会のできる範囲で調査してみました。もちろん設立当初の社名そのままの東京ガスや
帝国ホテルなど多くの企業名を確認するたびに、改めて総一郎翁の業績の偉大さに加
え、その意志の強さを痛感させられた想いです。

しかし印刷物として会員の皆様にごらん頂くことについては、各企業の現在の姿に
ついて様々な想いで読まれる方々も大勢いらっしゃることを考えて、表現については関西
廣済堂さんに一任することになりました。

このためいろいろと調査した内容全てが網羅されるかどうか、私としては判りませ
ん。しかし全体を捉えて頂くだけでも十分にその業績に纏わった仕事に対する熱意は
感じて頂けるのではないかと考えました。

会員皆様のなんらかの刺激やインパクトに繋がれば…と委員会でも話し合った次第
です。残念ながら微力なメンバーの集まりでこの程度の情報でしかお知らせできず、
総一郎翁には申し訳ない思いを残したまま、今号を編集させていただきました。しか
し今後も読みやすく楽しんで頂ける会報にしたいと思いますので、皆様にもご協力の
程お願い申し上げます。

広報委員会 古川 高夫(45期)

『銅像山通信』・第10号

発行日 平成19年4月27日

発行人 浅野学園同窓会

発行所 ㊟221-0012

横浜市神奈川区子安台1-3-1

浅野中学・高等学校

T E L 045-421-3281

F A X 045-421-4080

編 集 浅野学園同窓会広報委員会

印 刷 ㊟105-0014

東京都港区芝3-4-12

(株)廣済堂 文教ソリューション部

T E L 03-5427-8020

〈平成18年度 浅野高等学校 大学入試合格者数一覧〉

平成19年4月7日現在
浅野高等学校進学指導部調べ

国公立大学（準大学も含む）					大 学 名	学部名	現 役	浪 人	合 計	大 学 名	学部名	現 役	浪 人	合 計
大 学 名	学部名	現 役	浪 人	合 計	早 稲 田	商	15	5	20	日 本	医	0	1	1
北 海 道	医	0	1	1		文	4	3	7	歯	0	1	1	
	工	1	1	2		文化構想	1	6	7	理工	0	4	4	
秋 田	工学資源	1	0	1		教育	7	4	11	法 政	法	0	2	2
東 北	法	1	1	2		基幹理工	20	10	30	経済	2	1	3	
	経済	1	0	1		創造理工	21	7	28	経営	3	0	3	
	工	0	1	1		先進理工	12	5	17	文	0	1	1	
	薬	0	1	1		社会科学	1	2	3	工	1	1	2	
	農	1	0	1		人間科学	1	0	1	デザイン工	0	2	2	
筑 波	情報学群	1	0	1		スポーツ科	1	0	1	情報科学	1	2	3	
千 葉	工	1	0	1	東京理科	国際教養	4	0	4	明 治 学 院	法	1	4	5
	理	1	0	1		理工	55	19	74	経済	0	2	2	
東 京	文Ⅰ	2	2	4		工	20	13	33	駒 沢	経済	1	0	1
	文Ⅱ	3	0	3		基礎工	5	1	6	経営	0	1	1	
	文Ⅲ	3	0	3		理	14	11	25	文	1	0	1	
	理Ⅰ	18	6	24		薬	1	1	2	拓 殖	国際	0	1	1
	理Ⅱ	2	5	7		経営	5	2	7	國 學 院	法	0	1	0
	理Ⅲ	0	1	1		明 治	政経	2	8	10	経済	0	1	0
東京工業	1 類	3	1	4		商	1	0	1	文	0	2	0	
	2 類	3	0	3		経営	2	1	3	国 士 館	文	0	1	1
	3 類	4	0	4	法	0	1	1	芝 浦 工 業	工	5	7	12	
	4 類	5	2	7	文	0	1	1	システム工	1	4	5		
	5 類	5	0	5	理工	6	11	17	武 蔵 工 業	工	4	4	8	
	6 類	2	1	3	農	0	2	2	知識工	1	4	5		
	7 類	3	1	4	情報コミュニケ	1	1	2	環境情報	1	1	2		
一 橋	経済	7	1	8	上 智	経済	8	2	10	東京電機	工	1	0	1
	法	0	2	2	法	9	2	11	理工	1	1	2		
	社会	1	0	1	外国語	1	0	1	東京農業	応用生物学	1	1	2	
	商	1	0	1	理工	7	4	11	地域環境科学	0	1	1		
東京外語	外国語	1	1	2	立 教	経済	10	2	12	国際食料情報	0	2	2	
東京農工	工	1	1	2	経営	0	3	3	農	0	2	2		
電気通信	電気通信	3	2	5	法	3	3	6	帝 京	文	0	1	1	
首都大学東京	都市教養	2	0	2	文	1	2	3	神 奈 川	経営	0	1	1	
	システムデザ	1	0	1	観光	1	0	1	理	1	0	1		
東京学芸	教育	0	2	2	現代心理	1	0	1	同 志 社	法	0	1	1	
東京海洋	海洋科学	0	1	1	社会	3	2	5	立 命 館	法	0	1	1	
横浜国立	工	6	1	7	理	2	0	2	経済	1	0	1		
	経営	0	1	1	学 習 院	経済	1	0	1	経営	0	1	1	
横浜国立	国際総合科学	4	2	6	法	1	0	1	国際関係	0	1	1		
浜松医科	医	0	1	1	理	0	1	1	理工	0	1	1		
名古屋	工	1	0	1	青山学院	国際政経	0	2	2	東京慈恵会医	医	0	1	1
	理	1	0	1	経済	3	1	4	北 里	医	1	1	2	
京 都	経済	3	1	4	経済二部	0	1	1	医療衛生	0	1	1		
大 阪	経済	1	0	1	経営	2	0	2	薬	0	2	2		
	工	1	0	1	法	0	1	1	理	1	2	3		
	基礎工	0	1	1	理工	5	7	12	日 本 医 科	医	0	1	1	
神 戸	経済	0	1	1	中 央	経済	2	1	3	順 天 堂	医	0	1	1
島 根	医	1	0	1	商	3	2	5	昭 和	医	2	2	4	
鳥 取	医	0	1	1	文	0	1	1	東 邦	医	0	1	1	
山 口	農	0	1	1	法A	4	7	11	獨 協 医 科	医	0	1	1	
宮 崎	医	0	1	1	法B	0	1	1	杏 林	医	0	1	1	
琉 球	法文	1	0	1	理工	3	4	7	聖マリアンナ	医	0	2	2	
国 公 立 合 計		97	45	142	国際基督教	教養	1	0	1	岩 手 医 科	医	0	2	2
防衛医科	医	0	1	1	成 城	経済	1	0	1	埼玉医科	医	0	1	1
国公立+準大学合計		97	46	143	成 蹊	法	2	0	2	愛知医科	医	0	1	1
私 立 大 学					専 修	経済	0	1	1	日本歯科	生命歯	2	1	3
						文	1	0	1	東京歯科	歯	1	0	1
慶應義塾	経済	23	5	28		法	1	0	1	麻 布	獣医	0	2	2
	商	27	6	33	東 海	経済	0	1	1	共立薬科	薬	0	1	1
	法	11	2	13		政治経済	0	2	2	星 薬 科	薬	1	1	2
	文	4	3	7		文	0	2	2	東京薬科	生命科学	0	1	1
	医	0	1	1		医	1	0	1	横浜薬科	薬	1	0	1
	理工	46	26	72		情報理工	0	1	1	国際医療福祉	小田原保健	0	1	1
	環境情報	4	3	7	日 本	法	0	1	1	上記以外の私立大学		2	10	12
	総合政策	5	2	7	経済	3	1	4	私 立 合 計	455	330	785		
早 稲 田	政経	8	5	13	商	2	2	4	全 体 合 計	552	376	928		
	法	6	2	8	文理	1	1	2						